

小学生の自宅学習に関する  
マーケティングデータ  
～長期休み中の自宅学習 編～

朝日大学マーケティング研究所

## 調査概要

---

- 調査方法    Webアンケート
- 調査内容    普段の学習と、直前3月の春休み中の自宅学習について
- 調査期間    2010年4月23日（金）～5月6日（木）
- 調査対象    小学校3～6年生の子供のいる母親
- 有効回答    224名

子供の学年	人数
小3	35
小4	48
小5	60
小6	81
計	224

# 1. 自宅学習時間と校外学習について

## 休日や春休みの自宅学習時間は学年が上がるにつれ増加する。「通信教育」利用者は全体の約半数

■小学3～6年生の自宅学習時間は、平日で平均44.7分、休日で平均47.9分。学年別にみると、小3の自宅学習時間は休日より平日の方がやや長く、小4以上は休日の方が長い。また、休日の自宅学習時間は学年が上がる毎に長くなっており、小3では平均30分程度だが、小6では平均1時間超。

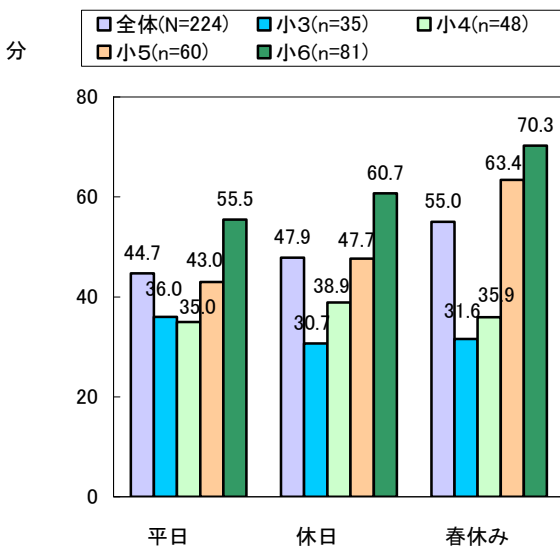
中学校受験予定有無別にみると、受験予定のない子供と受験するかわからない子供では平日・休日共に平均32～35分の間に収まっているが、受験予定のある子供の自宅学習時間はそれを遥かに上回っており、平日でも平均1時間半以上、休日では2時間を超える。

■小学3～6年生のこの春休みの自宅学習時間は、全体で平均55.0分。学年別にみると、小3、小4はいずれも平均30分強で、普段の休日とほぼ同程度だが、小5から一気に自宅学習時間が長くなり、平均1時間を超える。小6がもっとも長く、平均70.3分。

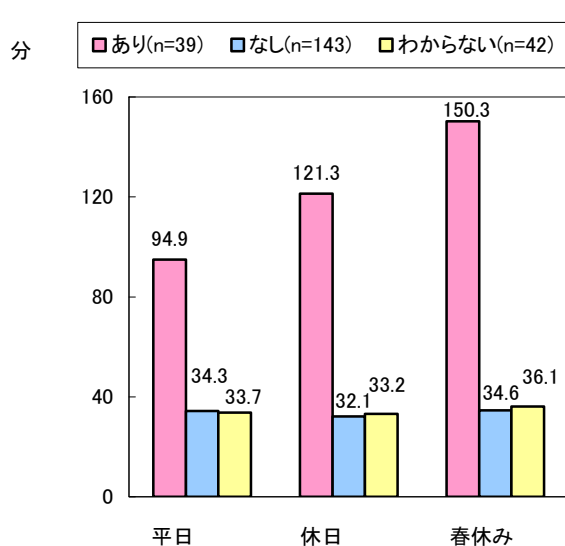
中学校受験予定有無別にみると、受験予定のある子供の春休みの自宅学習時間は平均2時間半で、普段の休日より30分近く長く、受験予定のない子供や受験するかわからない子供の4倍以上。

■小学3～6年生が校外学習で利用しているものとしてもっとも多く挙がったのは「通信教育」で、48.2%が利用している。次いで「補習塾」が14.7%、「進学塾」が10.3%と続く。何も利用していない子供は全体の4分の1程度。

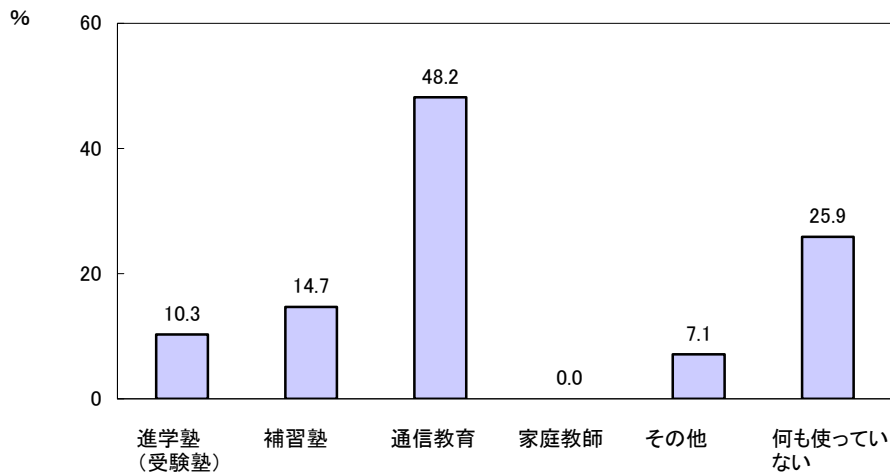
自宅学習時間(1日平均:学年別)



自宅学習時間(1日平均:中学受験予定別)



[参考] 校外学習利用状況(全体・N=224)



## 2. 春休み中の自宅学習①

春休み、計画的に学習できた子供とできなかった子供はほぼ半々。自宅学習時間や学校の成績に大きな差がある

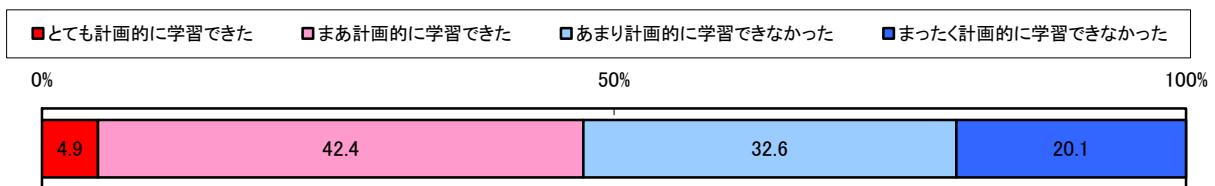
■「この春休みは計画的に自宅学習できたか」という問いに対し、「とても計画的に学習できた」と答えたのは4.9%。「まあ計画的に学習できた」も含めると、「計画的に学習できた」子供は全体の47.3%。一方、「計画的に学習できなかった」子供は52.7%（「あまり計画的に学習できなかった」32.6%+「まったく計画的に学習できなかった」20.1%）。

■計画的に学習できた子供の自宅学習時間は平日で平均57.8分、休日で平均64.1分、春休みは平均79.2分と、休みが長期であるほど自宅学習時間が長いのにに対して、計画的に学習できなかった子供は、平日・休日・春休みともに平均33分前後とほぼ横ばい状態。学習時間は、休み期間中により格差が広がっている。

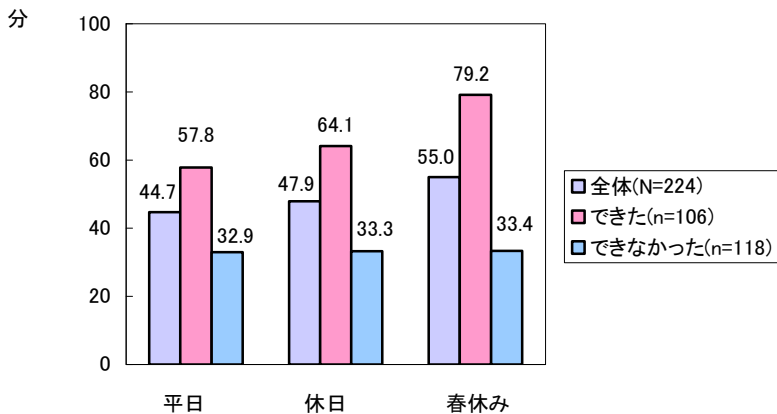
■計画的に学習できた子供のうち、中学校受験予定がある子供の割合は23.6%と、計画的に学習できなかった子供の2倍以上に上る。目指す目標が明確なほど計画的に学習を進めている。

■計画的に学習できた子供の学校の成績は、「中の上」がもっとも多く、成績上位者（「上」+「中の上」）の割合は74.5%に上る。計画的に学習できなかった子供の成績は「中の中」がもっとも多く、44.9%を占める。

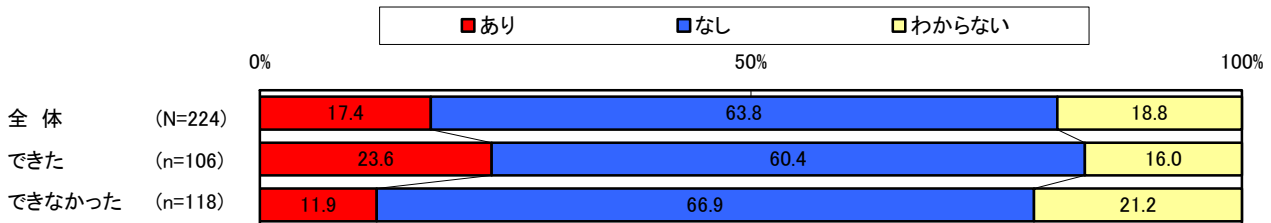
春休みは計画的に自宅学習できたか(全体・N=224)



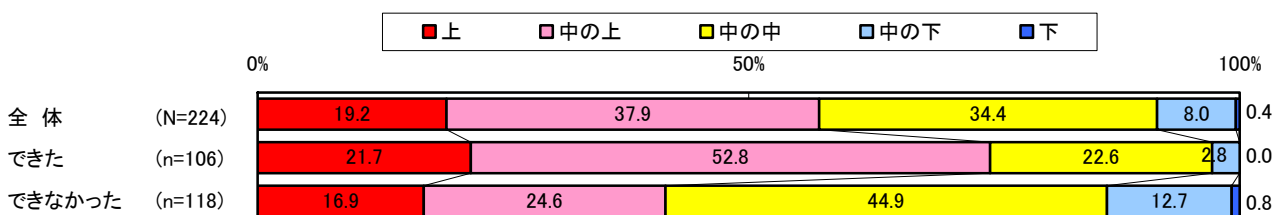
自宅学習時間(1日平均:春休みの計画的自宅学習可否別)



中学校受験予定(春休みの計画的自宅学習可否別)



学校の成績(春休みの計画的自宅学習可否別)



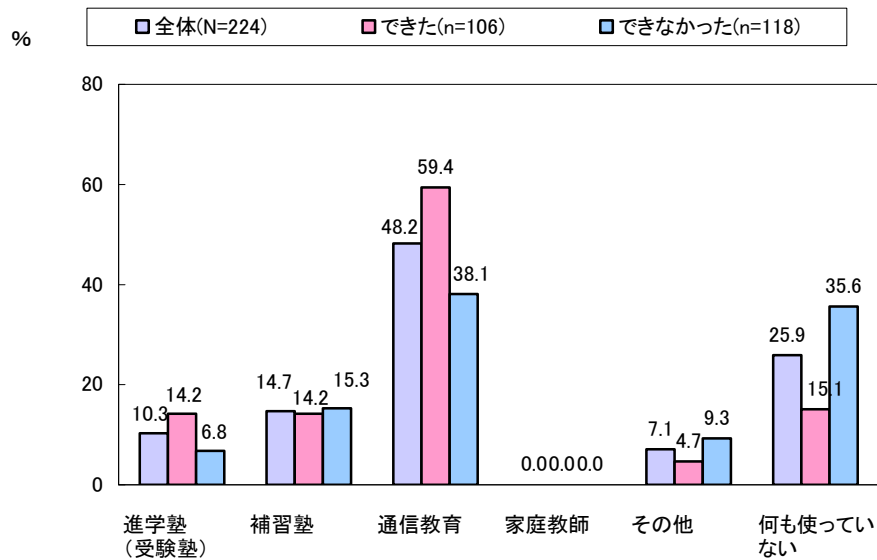
### 3. 春休み中の自宅学習②

計画的に学習できた子供の方が校外学習利用者が多く、「通信教育」利用者は計画的にできなかった子供の約1.5倍

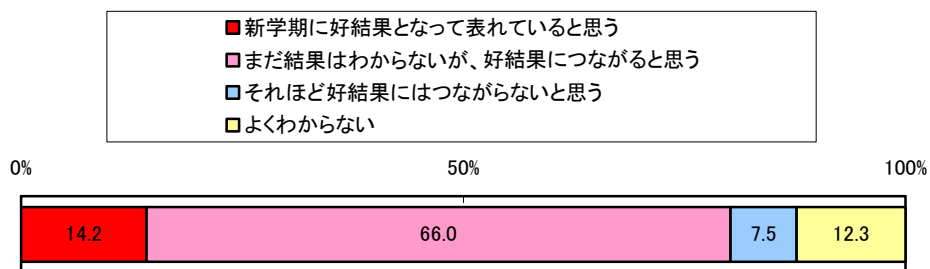
■春休みに計画的に学習できた子供は、校外学習を何かしら利用しており、何も使っていない子供はわずか15.1%。それに対して、計画的に学習できなかった子供のうち、校外学習を何も利用していない子供の割合は3分の1を超える。特に「通信教育」利用に大きな差がある。

■子供が計画的に学習できたと回答した母親に、春休みに計画的に学習できた効果が4月の新学期スタートに表れているかどうかを尋ねたところ、「表れていると思う」と答えたのは14.2%。「まだ結果はわからないが、好結果につながると思う」とした人は66.0%に上る。

校外学習利用状況(春休みの計画的自宅学習有無別)



新学期スタートに計画的学習効果が表れているか(春休みに計画的自宅学習できた子供を持つ母親・n=106)



## 4. 長期休み中の母親の対応

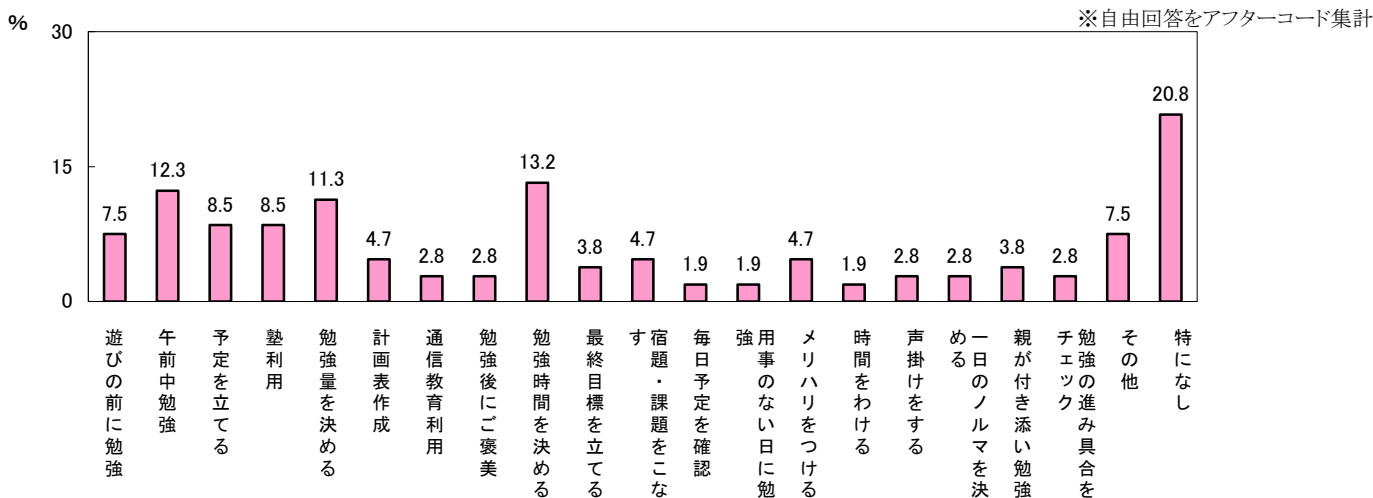
計画的学習のために心がけるのは勉強時間や勉強量を決めること。長期休み中は早寝早起き、遊びの前に勉強させるなど、普段とあまり変わらない生活を送らせることを重視する母親が多い

■この春休みに計画的に学習できた子供を持つ母親に、子供が計画的に学習するために心がけたこと、工夫したことを尋ねたところ、もっとも多く挙げたのは「勉強時間を決める」ことで13.2%。ついで「午前中勉強」が12.3%、「勉強量を決める」が11.3%と続く。何時から何時までは勉強する時間、午前中に勉強を済ませる、1日何ページドリルをやる、などの決め事を設定する母親が多かった。

■この春休みに計画的に学習できなかった子供を持つ母親に、子供が計画的に学習していないことへの対応を尋ねたところ、もっとも多く挙げたのは、子供に「声掛けをした」が24.6%。また、「特に対応をとらなかった」が32.2%に上った。

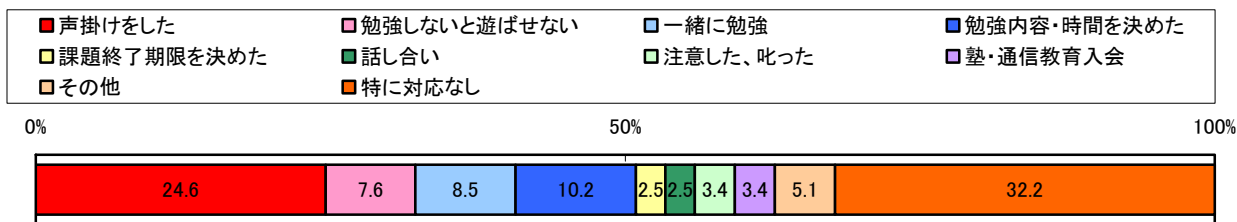
■長期休みの生活管理でだらだらな生活にならないように決めていることや子供と約束していることとして、「遊びの前に勉強」「早寝」「早起き」を挙げる母親が多く、いずれも10.3%。

春休みに計画的に学習するために心がけたこと、工夫したこと(春休みに計画的自宅学習できた子供を持つ母親・n=106)



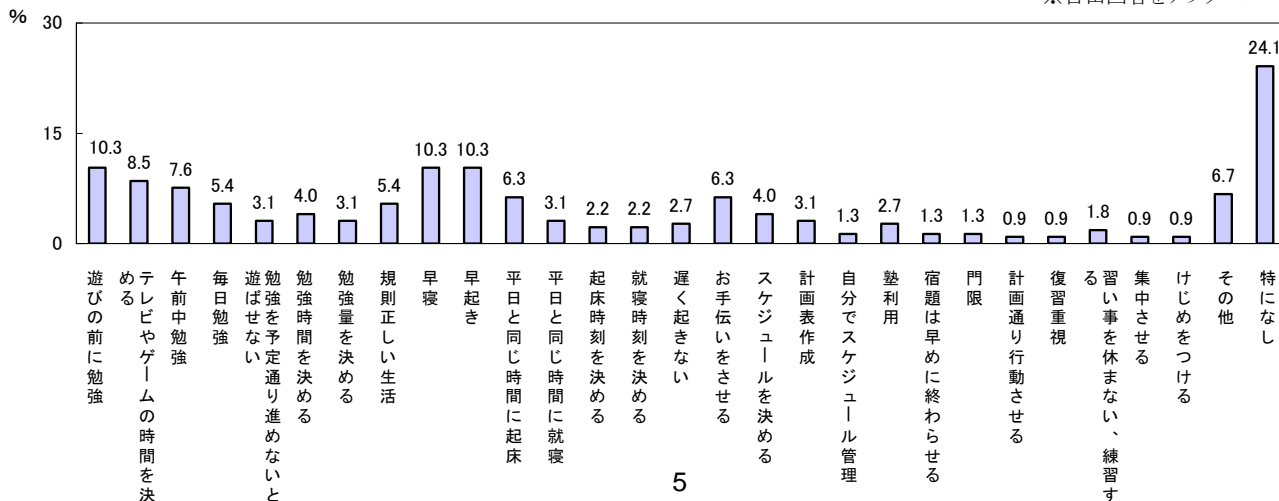
※自由回答をアフターコード集計

子供が計画的に学習していないのを見てとった対応(春休みに計画的自宅学習できなかった子供を持つ母親・n=118)



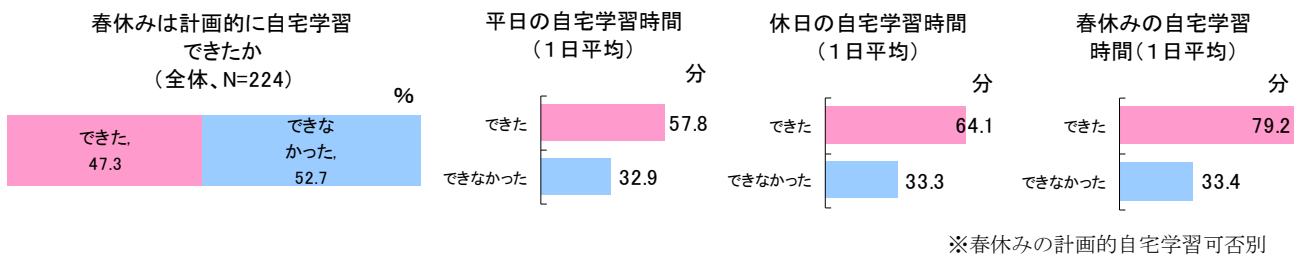
長期休みの生活管理でだらだらな生活にならないように決めていること(全体・N=224)

※自由回答をアフターコード集計



## データの総括

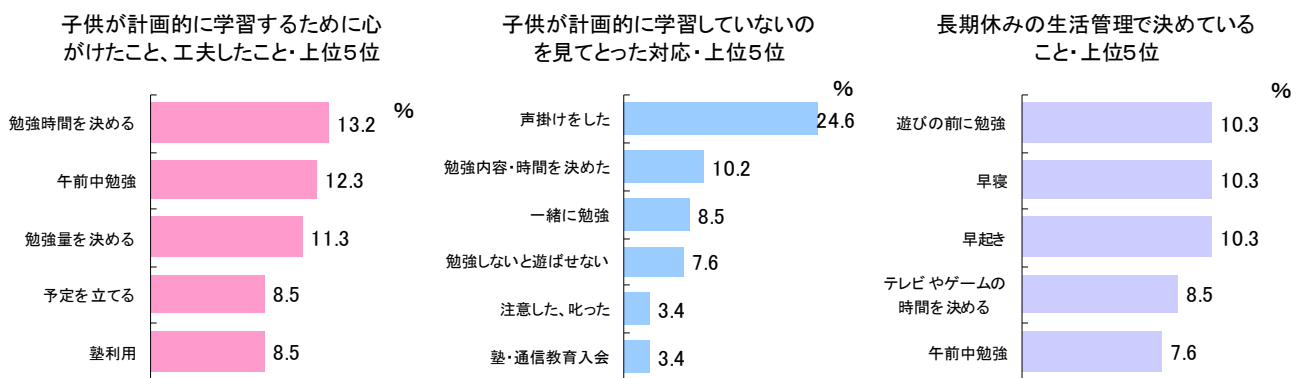
①春休み中、自宅で計画的に学習できた子供は47.3%、できなかった子供は52.7%。計画的に学習できた子供とできなかった子供の学習時間は、休みが長いほど格差大。



②春休みに、計画的に学習できた子供を持つ親が心がけたこと、工夫したことは「勉強時間を決める」「午前中勉強」「勉強量を決める」「予定を立てる」「塾利用」。

一方、計画的に学習できなかった子供を持つ親が行った対応は「声掛けをした」「勉強内容・時間を決めた」「一緒に勉強」「勉強しないと遊ばせない」「注意した、叱った」「塾・通信教育入会」。

長期休みの生活管理で決めていること、子供と約束していることは「遊びの前に勉強」「早寝」「早起き」「テレビやゲームの時間を決める」「午前中勉強」。



### 事実から推測される仮説

■「春休みや夏休みなどの長期休みに、生活リズムを崩さない方法」、これは、小学生の子供を持つ親にとって、1つの大きな関心事である。今回の春休み時の調査においても、計画的に自宅学習ができなかった子供は半数を超えており、親が様々な工夫を凝らして対応していることがわかった。

計画的に学習できた子を持つ親の成功例から、まずは、就寝時間、起床時間、食事時間を一定にする(普段と同じにする)ことが重要であることが示唆される。この3つの時間が一定に保たれれば、生活の基本リズムは崩れない。さらに、入浴時間、習い事の時間、おやつなどの時間が一定に保たれれば、その基本となる時間に近接するところに学習の時間を設定するとよい。例えば、朝食後に片付けなどのお手伝いの時間を設け、その直後、午前中のうちに勉強をすませ、終わったら思いっきり遊ばせる、といった具合である。

■小学校高学年となれば、中学受験を目指すことも1つの選択肢となってくるため、小学校低学年までに学習習慣を身につけておきたい。その場合、必ず毎日、決まった時間に机に座ることを習慣化したい。この時期は、どのくらい学習したかが重要ではなく、毎日欠かさずに、例え5分でも学習することが重要なのである。長期休みであろうとも、帰省先であろうとも、旅行先であろうとも、勉強という“苦痛”を和らげるためにも、たとえ少しでも机に向かわせるべきである。生活リズムの管理と学習の習慣化は一対で考える必要がある。長期休みの時間管理面でのサポートが親の重要な役割である。

**トピックスリサーチ**  
小学生の自宅学習に関する  
マーケティングデータ  
～長期休み中の自宅学習 編～

---

発行日 2010年6月15日

---

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所  
〒460-0002  
愛知県名古屋市中区丸の内3-21-20  
朝日丸の内ビル2F  
TEL : 052-961-4576

---

お問い合わせ [apost@dance.ocn.ne.jp](mailto:apost@dance.ocn.ne.jp)